

消防年報

令和元年度刊行



松江市消防本部



日本三大船神事 ホーランエンヤ

まつえじょうざんいなりじんじやしきねんしんこうさい
松江城山稲荷神社式年神幸祭は、その勇壮な掛け声から広く「ホーランエンヤ」という名で親しまれています。松江城内に祀られた稲荷神社の御神霊を、約 10 km 離れた東出雲町の阿太加夜神社あだかやじんじやに船でお運びし、7 日間にわたって五穀豊穰や市民の幸福を祈願し、再び稲荷神社にお帰りになる船渡御祭です。

今から約 370 年前の慶安元年（1648 年）、出雲の国は天候不順で大凶作が予想され、これに心を痛めた時の松江藩主松平直政公（徳川家康公の孫）が、稲荷神社の御神霊を阿太加夜神社あだかやじんじやにお運びし、何日にもわたり豊作の大祈禱をさせました。見事に満願成就したことから、以来 10 年から 12 年毎に行われておりましたが、現在は 10 年毎の式年神幸祭として行われるようになりました。

古くから日本三大船神事の一つといわれ、絢爛豪華なかいでんません權伝馬船が行き交う水の都松江が誇る全国最大級の船祭りです。

はじめに

この年報は、平成30年中における当消防本部の消防業務を広く紹介するために刊行したもので、消防業務の内容・火災・救急統計等を中心に収録いたしました。

消防行政の現況をご理解いただき、今後ともより一層のご指導とご協力を賜りますとともに、防火思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いと存じます。

松江市消防本部



市民憲章

私たちは松江市民です。雄大な日本海、美しい中海と宍道湖、八雲立つ山々にいだかれた松江がだいすきです。

私たちはこのかけがえのない自然を守り、先人のつちかった歴史を誇りとし、住む人に希望と勇気を与えるまちにします。

私たちは訪れる人にもてなしの心で接し、新しい松江のまちを築くため、手をとりあって進みます。

- 一、 青い海と湖、緑あふれる美しい自然のめぐみを大切に、きれいなまちにします。
- 一、 人の立場を重んじ、すこやかで心にゆとりのある、明るく住みよいまちにします。
- 一、 礼をつくし勉学にいそしみ、未来にはばたく、希望にみちたまちにします。
- 一、 はらかな歴史のいとなみと、つちかわれた文化をうけつぎ、心ゆたかなまちにします。
- 一、 働くことによるこびと誇りをもち、活気がみなぎる、いきいきしたまちにします。



消防訓

伝統ある消防精神を重んじ、消防人としての誇りと使命感をもって市民の信頼と期待にこたえるため、ここに消防訓を定める。

- 一、我々は、常に奉仕の精神で市民の安全を守る。
- 一、我々は、消防の知識及び技術を研鑽し、あらゆる災害に不撓不屈の精神で臨む。
- 一、我々は、常に規律を重んじ、誠実かつ迅速に職務を遂行する。

平成 24 年 4 月 1 日制定